

# アーカイブ No. 1 田野浦

アーカイブとは、重要記録を保存・活用し、未来に伝達すること。

大方・田野浦地区は前に海、後ろは山に囲まれ、昔から漁業と農業を生業としてきました。今でもちりめんじゃこ、花卉栽培は盛んです。



田野浦を山側上空より望む

**十一面観音** 沢山の人々の悩みを聞き救いの手を差し伸べようと、面を11にし、耳を増やしました。

大漁や、無病息災、長寿を祈願して、人々の信仰を深く集めてきました。

**雪の飯積寺** 飯積山の山頂に建てられた飯積寺には、十一面観音が奉納され、人々に「かんのんさん」として親しまれています。

**さららい** (災はらい)  
災難を払う意味。  
武蔵・小次郎の立ち回りは、二人の長い口上もあり、祭りの見せ場の一つ。



**大数珠回し** 石鎚山へ登る10日ぐらい前に精進をし、結界を張って念じる行事は、数珠そのものに力があると言われています。



**施餓鬼** (せがき) 仏教用語で法会(ほうえ)の名称。祖先への感謝を込め、田野浦では、昔多かったと言われる無縁仏も一緒に供養しました。昔は各地区で行っていましたが、今では西間だけに残っています。



**輪抜け** 夏の大祭、夏を無事に済ませ、秋からの大漁と、無病息災を祈願します。

**秋まつり**



奥湊川地区で恒例の「彼岸花まつり」が開催された。彼岸花は、花が終わると葉を出し越冬。春は光合成により栄養補給。夏になると葉を枯らし、しばしの休眠。秋には再び華麗に花を咲かせている。年間事業計画を確実にこなしていくサイクルには毎年乱れがない。彼岸花には見えないものを思いやる、そんな優しさを表す花言葉も多くある。

この9月議会は、前年度の決算の認定についての審議が主だった。事業は進捗のみでなく、その先に町民の安心安全で豊かな生活が確保できたのか、正しく評価できる視点を持ちたいと思う。

深まりゆく秋の夜長に、「議会だより」を手に取り、多くの方に読んで頂けたらと思う。

(濱村美香)

編集後記

議会広報常任委員会  
委員長 浅野修一  
副委員長 宮地葉子  
委員 宮本哲也  
同 中島一也  
同 濱村美香  
同 宮川徳光